

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
ファッションビジネスII Fashion Business II		2年	前期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
2単位	講義	選択	途中からの授業参加は認めない	
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
ファッションフィールド科目				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
ファッションビジネスI、デザイン演習II				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー	電話番号・メールアドレス	
立川笑子	非常勤講師室	授業内に指示する	授業中に指示します	
授業の概要				
実験ショップを行う事によってショップの立ち上げから商品企画、製作、販売、収支報告とファッションビジネスの一連の流れを学ぶ。				
授業の目標				
①ブランドの企画提案コンセプト、商品企画、商品製造、価格決定、販売の流れを理解できるようにする。 ②ブランド実験ショップの広告宣伝の企画提案を理解できるようにする。				
授業の方法				
企業の仕組みの講義。 チームでの実験ショップの立ち上げ、商品企画、店舗製作など一連の作業を行う。 実験ショップ体験後、収支報告会とレポート提出。				
学習の成果(学習成果)				
①ブランドの立ち上げから宣伝・販売・収支報告までの一連の流れが理解できる。 ②チームワーク力、コミュニケーション能力が身につく。 ③ファッション業界の企業の仕組みが身に付き、即戦力となるための知識が身に付く。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	ガイダンス（授業の進め方、レポートの書き方など）			
第2回目	実験ショップ：ブランド立ち上げ、企画制作（アンケート制作）			
第3回目	実験ショップ：企画案制作（アンケート調査）			
第4回目	実験ショップ：アンケート集計・商品企画制作			
第5回目	実験ショップ：商品決定、サンプル製作			
第6回目	実験ショップ：商品製作①			

第7回目	実験ショップ：商品製作②		
第8回目	実験ショップ：商品製作③		
第9回目	実験ショップ：商品製作④		
第10回目	実験ショップ：商品製作⑤・広報活動		
第11回目	実験ショップ：商品の包装・ディスプレイ提案		
第12回目	実験ショップ：商品最終確認、当日のディスプレイ確認		
第13回目	実験ショップ：当日		
第14回目	実験ショップ：収支報告書制作		
第15回目	収支報告発表・レポート提出		
成績評価の方法と基準			
	評価の領域	割合	評価の基準
	授業参加態度	50%	コミュニケーション力（報告・相談・連絡）、計画性、企画力があるか。
	レポート	30%	創意工夫的的確にまとめられているか。提出物は期限内にできているか。
	調査報告書		
	小テスト		
	試験		
	発表内容（態度含む）	20%	発表態度。報告能力があるか。
	その他		
教科書と参考図書			
【教科書】なし 必要内容の自作のプリントを配布する。			
履修上の留意点・ルール			
チーム制作のためきちんとコミュニケーションがとれるようにすること。無断欠席、忘れ物は減点対象とする。 費用は授業内で相談して金額を決め集金する。 レポート提出あり。			